

和歌山県 面的DX化事業の概要

1. 事業概要

- ・公式多言語ウェブサイト「VISIT WAKAYAMA」について、最新の技術の導入、セキュリティ対策を実施した上で再構築を図る。
- ・施設等予約システムを導入し、事業者が参画しやすい県版OTA機能を付加し、コンバージョン率の向上を図る。
- ・観光客の行動データを収集し、データ分析を行うことで需要予測やマーケティング戦略の最適化を図る。

2. 事業期間

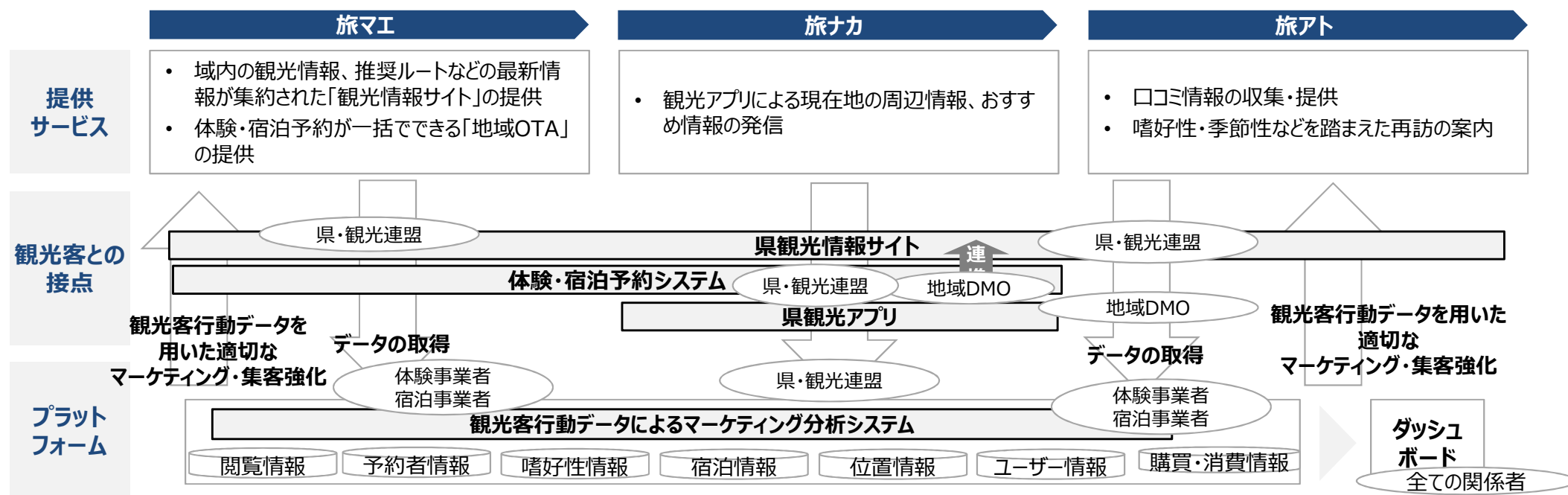
令和5年9月28日～令和6年3月31日 ※令和5年9月補正予算

3. 事業費

70,000千円（うち1/2は観光庁「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」補助金を充当）

4. 面的DX化計画の概要

和歌山県は広大な県域の中で高野山・熊野などの特定の観光地のみ認知度が高く、それら主要観光地も県内に点在していることから観光地単位でPRしてきた。これにより観光地間のアピール差が発生/「和歌山県」の認知度は低い/県一体として魅力訴求できておらず周遊に結びつかない、などの問題が発生。観光地間の認知度の差は、各地の経営体力格差の広がりも助長している。本事業では、観光サイト改修・地域OTA構築・観光客行動分析システム構築を実施し、**和歌山県全域の認知度向上/滞在延長による客単価・消費額向上/体験事業者の利益率改善/適切なマーケティングによる新規客数増加・再訪率向上**を狙う。



体験コンテンツの予約・在庫を一元管理できる「サイトコントローラー」



JTB BÓKUN 管理画面



業務の効率化

自社ホームページ、観光連盟ホームページ、連携可能な海外OTAなど、様々な販路からの予約を一元管理することができます。従来の紙台帳や複数システムの操作による事務作業をなくし、業務時間を短縮します。



販売機会の拡大

多様な販路を一括管理することで、各社に専用在庫を提供する必要がなく売れ残りのリスクを軽減します。1か所でも多く販路を開拓し、販売機会を拡大しましょう。



データの収集・分析・活用

和歌山県体験等予約システム（JTB BÓKUN）を活用することで、電話申込や現地受付などのオフライン予約も含めた予約販売データの収集・分析が可能です。データの分析については県や観光連盟等が行います。そこから得られた情報の活用方法については別途お示しすることといたします。

